

独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社コーセツコンサルタント（代表取締役社長 角田 五郎、以下 当社）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド^(注1)（第66回日本学生支援債券、以下「本債券」という）への投資を決定いたしましたので、お知らせします。

本債券の発行による資金調達は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）^(注2)の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。



当社は、本債券を始め、各種取り組み及び建設コンサルタントとしての事業活動を通じて、持続可能な社会の形成に貢献する取り組みを継続してまいります。

<本債券の概要>

銘柄	第66回 日本学生支援債券
年限	2年
発行額	300億円
発行日	令和4年2月

(注1) ソーシャルボンドとは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達の為に発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに ESG^(注3) 投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的な ESG 評価機関であるヴィジオアイリス（Vigeo Eiris・フランス）からセカンドオピニオンを取得しており、「ソーシャルボンド」として明確に評価されています。

(注2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのことです。

(注3) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉です。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のことです。

以上

当社は1963年に創業し、建設コンサルタントとして、下水道を始め上水道、道路、河川、橋梁などの社会資本全般のインフラ整備に貢献してまいりました。これからは従来のインフラ整備に加え、耐震化や長寿命化などストックマネジメントにも取り組み、地域社会を始めとした社会貢献活動に努めてまいります。

これからも顧客である地方公共団体と、エンドユーザーである市民の皆様のご要望に的確にお応えできるよう、なお一層技術の研鑽に努め、先見的な視野で技術提案をおこないながら、地域社会の発展および持続可能な社会の形成に貢献してまいります。



■□当社のSDGs取り組み（2022年1月現在）□■

《事業活動》

- ・ 下水道設計
- ・ 上水道設計
- ・ 土木設計・災害対策

《その他取り組み》

- ・ 寄付活動
- ・ 長時間労働の抑制及び有休消化の推奨、その他雇用に関する取り組み
- ・ 節電や省エネ対策、その他環境に関する取り組み
- ・ 外部研修、講習会への参加奨励、その他人材育成に関する取り組み
- ・ 予防接種補助金や個人旅行宿泊補助などの制度を設け、身体的並びに精神的な健康促進を目的とする福利厚生の実施に関する取り組み など



■□会社概要□■

本社所在地：〒221-0835

神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町三丁目 32 番地 13

設立：1963年4月20日

資本金：3,500万円

代表者：代表取締役 角田 五郎

事業内容：各都道府県、市町村等官公庁が行っている都市整備事業（上水道、下水道、道路、河川、砂防、橋梁等）の調査、計画立案から詳細設計等コンサルティングに関する一切の業務

TEL：045-323-0136／FAX：045-323-0130

URL：<https://www.kosetsu.co.jp/>